



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査し、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

**【対象となる方】**

2012/12/7～2019/1/31にご同意いただいた方

**【研究課題名】** うつ病・躁うつ病で認められる特定症状に関連する脳脊髄液バイオマーカーの探索

**【研究責任者】** 岩下 弘樹（武田薬品工業株式会社）

**【本研究の目的及び意義】**

主に問診で診断されるうつ病や躁うつ病は、中核症状である抑うつ気分以外に不眠、食欲の低下、思考力の低下、意欲の低下など、患者さん毎に異なった症状が認められる事がわかっている。本研究において、これら個別の症状に関連する分子をつきとめるため、うつ病と健常対照の方の脳脊髄液検体を用い、上記症状との関連が示唆されている神経伝達物質等の解析を行い、新しい診断、治療法の開発の足がかりとなるデータの取得を目指す。

**【本研究に提供している試料・情報】**

髄液

**【問い合わせ窓口】**

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail: biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)